



思いおもいにお気に入りの商品を手取る来場者。

今年で7回目となる「たざわこクラフト市」が5月19日から2日間、思い出の潟分校を会場に開催されました。

このイベントは、県内外から作家さんが集まり、校舎全体を使い47店舗が出店。手作りの布小物やアクセサリー、お菓子など様々なジャンルの商品が販売されます。

実行委員長の桜田祐美さんは『丁寧に作られたものを大切に使うことの豊かさを伝えたい』という思いで、やりたいことをシンプルにイベント

手仕事の魅力満載
たざわこクラフト市



思い出の潟分校の雰囲気もコンセプトにぴったり。

を続けている。今回は初めてテレビの取材もあり、たくさんの人に知ってもらおうきっかけになった。毎年来てくれるお客さんはもちろん、新しいお客さんにも楽しい時間を作ってもらえたらうれしい」と話しました。

また、茨城県の作家さんは「今回の出店は2回目。田沢湖の美しさに感動して、いつか移住したいと考えている。このイベントが他と違う点は、お客さんが商品をじっくりと見て本当に気に入ったものを買っていただく」と笑顔で話しました。

2日間で約1600人のお客さんで賑わいを見せたクラフト市。商品をじっくり選んだり、お店の人と楽しくお話ししたりと、潟分校にはゆったりとした時間が流れていました。

各地の特産品が大人気!

姉妹都市・連携交流都市で物産展

角館の桜まつり期間中、仙北市の姉妹都市・連携交流都市（長崎県大村市、茨城県常陸太田市、秋田市）の物産展が4月28日、29日と市役所角館庁舎前の特設テントで開催されました。

期間中は、大村市名物のちゃんぽん、皿うどん、カステラや常陸太田市名物のそば茶や菓子類のほか、秋田市からは鮎甘露煮など、地元でしか手に入らない品々が並び大盛況となりました。



各地の特産品を求め、多くのお客さんが訪れました。



桜まつり期間中、観光客に特殊詐欺被害防止などを呼びかける参加者。

暴力団排除・特殊詐欺被害防止活動

4月28日、仙北地区暴力追放推進委員会、仙北地区少年保護育成委員会、仙北市防犯協会、仙北市防犯指導隊による暴力団排除、特殊詐欺被害防止活動が角館町の桜まつり会場で行われました。

当日は、各団体から合わせて約30人が参加。なまはげと一緒に桜まつりに訪れた観光客に、暴力団排除や特殊詐欺被害防止の啓発グッズ・チラシ等を配布しながら、防犯意識の向上に努めました。

参加者は、観光客一人ひとりに丁寧に暴力団排除の「3ない運動プラス1」や振り込め詐欺防止に対する注意を呼びかけていました。

このほど、2018年春の叙勲受章者が発表され、仙北市からは元田沢湖町助役の高橋正男氏が地方自治功勞で瑞宝双光章を、元仙北市角館消防団分団長の佐々木孝氏が消防功勞で瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝単光章
(消防功勞)



佐々木 孝氏
(74歳 角館町西長野)

元 仙北市角館消防団分団長

昭和44年角館町消防団に入団。平成10年から平成19年まで分団長として活躍。入団後、37年間の長きにわたり、地域の防火・防災のリーダーとして尽力されました。

瑞宝双光章
(地方自治功勞)



高橋 正男氏
(77歳 田沢湖生保内)

元 田沢湖町助役

平成7年7月から平成17年9月までの10年3か月にわたり、田沢湖町助役を務められ、この間、住民福祉の向上など町政発展に大きく貢献されました。

春の叙勲

秋田県社会教育委員連絡協議会表彰



阿部 節子 さん



藤村 栄一 さん

5月16日に秋田県生涯学習センターで開催された「平成30年度秋田県社会教育委員連絡協議会評議員会」で、仙北市社会教育委員の藤村栄一さんと阿部節子さんが秋田県社会教育委員連絡協議会表彰を受賞しました。

お二人は、社会教育委員として地域の社会活動や社会教育中期計画策定などに積極的に取り組まれ、社会教育の振興と発展に尽力されたことが評価され、今回の受賞となりました。